

2010年5月21日
成田国際空港株式会社

第29回航空機事故消火救難総合訓練の実施について

成田空港において、航空機事故が発生したことを想定し、下記のとおり航空機事故消火救難総合訓練を実施いたしますのでお知らせいたします。

本訓練では、旅客便の事故を想定し、昨年3月の貨物機横転炎上事故を踏まえ、事故発生時の初期対応、消火救難業務等の一層の能力向上のための訓練内容を継続して実施いたします。

この様な実践的な訓練を通じ、空港内外の関係機関相互の緊密な連携による各種緊急活動の総合的な手順の習熟を図り、もって総合的な消火救難体制の強化を目指すこととしております。

記

1. 訓練の概要（詳細：平成22年度成田国際空港航空機事故消火救難総合訓練実施要領のとおり）
 - 日時：平成22年5月27日（木） 14:15～15:45
 - 場所：成田国際空港整備地区エプロン（ノイズリダクションハンガー前）
 - 主唱：千葉県
 - 主催：成田市、国土交通省東京航空局成田空港事務所、NAA
2. 参加機関、人員等
 - 64機関、約900名
 - 約250台の緊急車両等
4. 提供航空機 デルタ航空 B-747型機
5. 訓練内容
 - 詳細は、別紙「航空機事故消火救難総合訓練実施要領」を参照願います。主な訓練内容は
 - ①航空機火災防御及び機内からの負傷者救出、搬送や避難誘導等
（搭乗者のより一層の安全確保のため、自治体消防及び空港消防の一部消火隊要員による救助活動支援）
 - ②負傷者選別所及び救護所における医療機関関係者等による負傷者の選別、救護処置等
（迅速な負傷程度判別のため、事由記載部分を改良したトリアージ・タッグによる負傷者選別の実施や救護現場での現場統轄者による指導活動。医師と消防機関による負傷者の搬送順位に係る協議調整等）
 - ③搬送先医療機関との緊密なる連絡調整
（負傷者の迅速かつ適切な後方病院搬送のため、緊急指揮所及び後方医療機関との緊密な連絡調整による搬送先、受入者数等の決定）
6. 台風等荒天による中止の判断は、当日10:00に行います。